

生徒指導だより No. 1

令和2年4月14日

「新年度学校生活スタート～学校生活オリエンテーション～」

いよいよ令和2年度がスタートしました。全校集会では学校生活についての話を行う予定でしたが、休校について話に変更しましたので、ここにのせておきたいと思います。例年西方中では、ディズニーランドを例に、「凡事徹底」の話をします。ディズニーランドでは当たり前のことを、一人一人が当たり前に行うことで、企業理念である「すべてのゲストにハピネス（幸せ）を提供する」という目標を達成しようとしているのです。そこで、西方中も同じものを追求していこうとしています。

「当たり前のことを当たり前でできる（凡事徹底）」 ＝自分に関わる人を幸せにする

先生方は、西方中生が「当たり前のことを当たり前でできる」集団になってほしいと願っています。当たり前なこと（**凡事**）も人を感動させたら、それはすばらしいこと（**非凡**）だといえます。

毎日のあいさつ
脚下照顧（靴箱のかかとをそろえること）
自転車の前輪を車止めにつけて停車
3分前までに授業の準備、着席
自問清掃
下校時のタスキの着用
整った身だしなみ
公共物（学校のもの）を大切に使う。

なぜ行うのか。それは

→ **「心の土台」** を作るためです。

心の土台のしっかりした人間

＝「**社会に通用する人間**」です。

西方中生として「当たり前」に行うものとして、上記のものが挙げられます。これらはすべて、「心の土台」をつくるためにやっています。植物をイメージしてみると分かりやすいかもしれません。どんなにすばらしい植物も、根っこ（土台）がしっかりしていなければ育ちません。人間も同じです。心の土台がしっかりしていること。これが、将来、西方中生が社会で通用する人間になるために必要なものだと考えています。だからこそ、今、当たり前のことを当たり前に行える力を身につけてほしいと思っています。中学生は心も体も大きく変わる時期です。無限の可能性のある「今」だからこそ、「凡事徹底」する力を育てていきましょう。人生の進むべき道の角度が1度変われば、ゴールする場所は大きく変化しているでしょう。

※イメージ

種子が残る＝継承	受け継がれる伝統
果実が実る＝成果	人間的成長
花を咲かせる＝目標達成	行事の成功・部活動の結果
葉を茂らせる＝努力	生活・勉強・部活・行事（本気）
根をはる＝心の土台	当たり前のことを当たり前でできる心の強さ・真面目さ・素直さ



合わせて、「**心のコップを上向きに**」という心構えの話をしています。自分の心を育てようとしても、心のコップが受け入れる状態になれば、どんなすばらしい教えも自分で吸収していくことはできません。だから素直な気持ちで学校生活を送ることを心がけるとよいでしょう。そして、すべてのことを素直な心で受け入れ、自分の中に活かしていく。すると、西方中生の心の土台はどんどん豊かになっていくはずですよ。凡事徹底の意味を考え、一人一人が社会に通用する準備をしていってほしいと願っています。

心のコップを上向きにすること＝素直な人間は必ず伸びる

「新年度の様子」

4月がスタートし、コロナウイルスの影響で、臨時休校が再開している状況ですが、4月8日～10日の学校の様子をのせておきたいと思います。



慌ただしい日程にもかかわらず、駐輪場や昇降口が整っていて非常にキレイです。また、1年生も早速意識できて素晴らしいと思います。左下の写真は下校時の靴箱ですが、脚下照顧が下校時まで意識されていて非常に美しいと思います。その際2・3年生が丁寧に1年生を教え、導いている姿も見られ、さすが西方中学校だと思いました。

また、右下の写真ですが、現在教室は机を離れた状態で生活しています。13日には全ての教室の机とイスを先生方が消毒しました。生徒の皆さんが、学校に安心してこられるよう、先生方も準備をしているところです。

世の中が非常事態であるからこそ、中学生として「心の土台」をしっかりさせるように生活していきましょう。落ちついて生活すること。予防に気をつける事が肝心です。臨時休校が解除され、みなさんと一緒に学校生活を送れる日を、西方中の先生方も待っています。

